

昨年の全国の交通事故死者数は、前年より589人減の5155人と、8年連続で減少しました。県別では愛知県が276人と4年連続でワースト、次いで埼玉、北海道、東京の順になつていきます。

(警察庁調べ)

1970年のいわゆる第1次交通戦争の時期に、死者数1万6765人を数え、88年の第2次交通戦争時に再び1万人を突破しましたが、最悪時の3分の1以下にまでに減少

交通死が8年連続減

しました。

死者減の要因は、「後部座席のシートベルト義務化」。これを徹底すると、さらに4分の1は減少するといふ統計もあります。危険運転致死

罪の新設、飲酒運転・ひき逃げの罰則強化や、車の安全性能の向上などがあげられます。一方、飲酒運転を隠すためのひき逃げ事案が増加するなど、悪質化の傾向も見うけられます。

交通安全10メモ